

聴覚障害児における単文の処理過程に関する実験的研究

著者	相澤 宏充
著者別名	Aizawa Hiromitsu
内容記述	筑波大学博士（心身障害学）学位論文・平成12年3月24日授与（甲第2233号）
発行年	2000
その他のタイトル	An experimental study on simple sentence processing by children and students with hearing impairments
URL	http://hdl.handle.net/2241/6503

聴覚障害児における単文の処理過程に関する
実験的研究

An Experimental Study on Simple Sentence Processing
by Children and Students with Hearing Impairments

筑波大学 心身障害学研究科
相澤 宏充

寄贈
相澤宏充氏

00003542

序論

第1章 聴覚障害児の統語能力とその獲得要因	
第1節 はじめに	2
第2節 格助詞に関する研究	4
第3節 言語の意味情報	11
第2章 言語処理に関する心理学的研究の概観	
第1節 単文の理解	15
第2節 文の解析	19
第3節 単語の認知	23
第4節 児童における言語処理の特徴	30
第5節 まとめ	35
第3章 本研究の位置づけ	
第1節 聴覚障害児の言語処理	37
第2節 本研究の位置づけ	40

本論

第4章 本研究の目的と方法	
第1節 本研究の目的	42
第2節 本研究の構成	43
第3節 本研究の方法	45
第5章 第1研究 単文の理解	
第1節 統語情報、意味情報が文法性判断に与える効果の検討	49
実験1 統語情報及び意味情報が文法性判断に与える効果の検討	49
第2節 命題が文法性判断へ与える効果の検討	60
実験2 命題が文法性判断へ与える効果の検討	60
第3節 文法性判断課題の発達の要因	69
実験3-1 聴覚障害青年における文法性判断の特徴	69
実験3-2 聴覚障害児童における文法性判断の特徴	79

第6章 第2研究 単語の認知における文脈の影響	
第1節 格助詞による統語的なプライミングに関する基礎的検討	89
実験4 統語情報「が格」「を格」が単語の認知に与える影響の検討	89
実験5 統語情報「に格」が単語の認知に与える影響の検討	103
実験6 統語情報「に格」が単語の認知に与える影響の補足的検討	116
第2節 意味情報と統語的なプライミングの関連の検討	127
実験7 項の意味カテゴリが統語的なプライミングに与える影響の検討	127
第3節 頻度と統語的なプライミングの関連の検討	144
実験8 動詞の熟知性が統語的なプライミングに与える影響の検討	144
第4節 動詞の接辞形態素と統語的なプライミングの関連の検討	159
実験9 動詞の原型と派生型が統語的なプライミングに与える影響の検討	159
実験10 動詞の派生型が統語的なプライミングに与える影響の検討	175
結論	
第7章 総合的考察	
第1節 聴覚障害児の単文の理解における処理の特徴	190
第2節 聴覚障害児の単語の認知における処理の特徴	195
第3節 聴覚障害児における単文の処理の特徴	199
第8章 結論	
第1節 総括と結論	204
第2節 今後の課題	210
文献	212
資料	
謝辞	